

第399号

2014年

9月16日

どついたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

2014年原水爆禁止世界大会報告

全損保の平和と民主主義のとりくみとして、本年度も8月6日の原水爆禁止世界大会の一連の行事に、日動外勤支部より、上杉組合員ほか3名が参加しました。上杉組合員より感想文が届いていますので、以下掲載します。

被爆69年損保平和交流集会と損保慰霊祭に参加して

上杉 裕之

8月5日の損保平和交流集会と翌6日の損保慰霊祭に参加させていただきました。損保平和交流集会は、原爆で亡くなられた損保従業員89名に対しての黙祷で始まりました。つづく全損保・荒木書記長のあいさつでは、安倍内閣が特定秘密保護法を強行成立させ、そして過去の歴代政府が認めてこなかった集団的自衛権の行使容認を閣議決定など、平和と民主主義を危険にさらさせる政策を、国民の声を無視する形ですめられていることを強く批判しました。

そして、多くの組合員の不安や疑問の声を封じ込めて、全損保脱退を進めようとしている日新支部の現状についても報告がなされました。そのあと、広島音楽家ユニオンのギターとフルートによるアンサンブル、広島全損保 OG の小笠原さんの被爆体験のお話や岡さんによる原爆詩の朗読が参加者の心に染み入りました。

最後に全損保のすばらしさと平和の取り組みを発展させていくことを確認し、「全損保日新支部を守る有志の会」へのカンパを呼び掛け、損保平和交流集会を締めくくりました。

翌6日は朝8時半から、雨にも係わらず全損保碑の前に組合員・OB・関係団体代表

など約60名が集まりました。黙祷をささげた後、全損保・荒木書記長が平和と核廃絶への誓いを新たにするあいさつを行いました。慰霊祭では沢山の献花と折鶴がたむけられ、参加者全員で手を合わせ核廃絶への誓いを新たにしました。

中学校の修学旅行以来の広島平和記念公園でした。今回初めて参加させていただき、改めて「平和の尊さ」「原爆の恐ろしさ」そして「全損保のすばらしさ」を痛感したしだいです。今、日本が「戦争ができる国」へと変わろうとしている、大きな曲がり角に来ているのではないかと思っています。唯一の被爆国である日本が全世界にこのことを強くアピールしていくことが大事ではないかと思いました。今回の参加に感謝し、また機会があれば参加したいと思っています。

以 上